

## 「地球温暖化や気候変動について学ぼう！」開催しました

熊本市を含む熊本連携中枢都市圏※では、令和6年度から令和7年度にかけて「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の第2次計画の策定を行っています。

こどもたちの考えや意見を次期計画の参考とさせていただくため、地球温暖化や気候変動について知り・考えることをテーマに、ワークショップを開催しました。

## 【開催概要】

実施日時：令和7年（2025年）6月20日  
「たぐにし day」（学校開放の日）

実施場所：託麻西小学校

対象者：5学年（4クラス・127人）



## 地球温暖化や気候変動について知る！考える！

ワークショップでは、「日頃から電気や水を大切に使用しているか」について、事前にこどもたちと保護者にアンケートに回答いただき、その結果を紹介しました。

また、「未来の熊本市がどのようなまちになってほしいか」や、「温室効果ガスを出さないために、家や学校ではどんなことができるか」などについてグループごとに話し合い、グループで出た意見を発表しました。



## 日頃から電気や水を大切に使用している？

毎日の生活の中で電気や水を大切に使用しているか振り返りました。



ワークショップに参加したこどもたちの多くは、「部屋を出るときは電気を消している」、「冷蔵庫は必要なものを取り出したらすぐに閉めている」などの行動ができていることが分かりました。

## わたしたちの生活や生き物への影響は？

身近なわたしたちの生活や生き物にどんな影響があるか話し合いました。



こどもたちからは、「大雨が降ったり、雨が全然降らなかったりして、生活に影響がある」、「健康へのリスクが増大する」、「熱中症、食糧不足、自然災害による被害など生活にさまざまな影響が及ぶ可能性がある」などの意見が出されました。

## 家や学校でどんなことができる？

温室効果ガスを出さないために、どのようなことができるかを考え



ました。こどもたちからは、「ごみになるいらない物は買わない、物を大切にする」、「友達と遊ぶときは、なるべく自転車を使う」、「部屋を出るときは、電気を消す」などの意見が出されました。

## 熊本市はどんなまちになってほしい？

こどもたちが大人になったとき、どのような熊本市になって欲しいかを考えました。

こどもたちからは、「水や緑や自然がきれいなまち」、「自然の力を生かして、電気をつくる熊本市」、「ポイ捨てがなく、きれいなまち」などの意見が出されました。

## ※熊本連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう中枢都市である熊本市と近隣市町村が連携して様々な取り組みを実施するものです。現在24市町村がさまざまな分野で連携し、取り組みを進めています。次の地球温暖化対策実行計画は、荒尾市を除く23市町村で策定します。（荒尾市は独自で計画を策定済）